



色鮮やかに
江戸情緒ただよう

大名行列

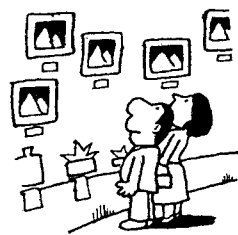
真夏日を思わせ午後の一時
青空に向けて白い毛やりが、
掛け声ともども宙に舞う、今
年も大名行列が賑やかに街に
くり出しました。

六回を迎えた大名行列も、
すっかり八朔祭になくはな
らないものとなりました。
今年から、姫・腰元に市内
の企業から若い女性に参加、
一段と盛り上がりを見せてく
れました。

ご出演頂いた皆さん暑い中
ご苦労さまでした。心から感
謝申し上げます。

秋の一日を

市文化祭へ



文化祭が十一月一日・二日・
三日の三日間文化会館、市民
会館で開催されます。お気軽
にお出かけ下さい。

作品展示

菊花・書道・さつき・盆栽
華道・切手・写真・俳句・
短歌・趣味などの作品。な
お、美術部門（洋画・日本
画・工芸）の展示は、十一
月七日（土）・八日（日）
に小中学生児童・生徒絵画

展と同時に開催します。
各種大会

▽芸能大会

十一月二日（月）・三日（火）
午前十時から午後四時
文化会館四階大ホール
舞踊・民謡・琴・尺八・詩
吟・吟舞・大正琴

▽茶会

十一月三日（火）午前十時
から 文化会館三階和室

▽吟詠大会

十一月一日（日）午前九時
から 文化会館四階大ホー
ル

▽俳句大会

十一月三日（火）午後一時
から 文化会館三階
（持ち寄り秋題三句）

▽囲碁大会

十一月三日（火）午前九時
三十分 社会教育会館

▽合唱祭

十一月三日（火）午後一時
から 市民会館

▽詩の朗読発表会

十一月二十二日（日）午後
一時から 文化会館四階大
ホール

▽歴史探訪

十一月三日（火）午前九時
三十分 文化会館集合
※ご来場をお待ちしておりま
す。

子供会シリーズ (3)

長くなった子どもの時代

子どもの時代とは、子ども
が生まれてから成人の社会に
入る前までとします。

大昔から、どのような時で
も子どものいるところに、子
どもの集団があり、遊びがあ
りました。原始社会から古代
社会・封建社会と時代が移っ
ても、貧しい子どもの生活は、
悲惨だったにちがいありません。
そうして大人になるのも
速かったにちがいありません。
貧しい社会では子どもの労働
力が必要だったのです。これ
は子どもにとっても不幸であ
り、社会の為にも不幸であっ
たのです。

下等な動物程、子どもの時
代は短いのです。社会が進め
ば進む程、子どもの時代は長
くなります。今日原子力や高
度技術産業の時代になると、
相当訓練を受けないと生産に
携わることではできません。子
どもの時代が長くなればなる
程、子どもの遊ぶ時間も長く

なります。遊ぶことが認めら
れることは、子どもの仕合せ
ばかりでなく、社会の進歩に
もなります。

子どもの時代が長くなって
も遊ばなければ子どもの人格
をつくる働きがなくなります。
そこで人々は子どもを遊ばせ
ようとしましたが、子どもが
自然に遊んで悪いことをして
は困るという考えが一方には
ありました。そこで子どもに
よい遊びをさせようとしまし
た。それで戦前寺や、教会で
日曜学校をするようになりま
した。

この日曜学校は子どもによ
い遊びをさせる人為的な集団
といえます。これが今の子ど
も会、子どもクラブの前身だ
ろうと思います。
子どものことで、困ったこ
とがありましたら電話をくだ
さい。

教育相談室
☎(43)11111